

2018 年度定演期 MS 選曲委員会 意見シート

文責：ソプラノ 2 年次サブパートリーダー 長森咲都

基本的に技術的な面はソプラノ視点で考えています。他パートのこと書きたいときはその旨書きます。

1. 銀河鉄道の夜

- ・好き。推したい。銀河鉄道の夜とりあえず読んだが、ますますモチベーションが上がった。初め楽譜見た時これは…と思ったが、第一印象よりは実はシンプルなところが多いのかという気持ち。「音画」という言葉も適していると思う。
- ・「愛の天文学」とタイトルの感じの被りが気になるという意見が出そう。話題性どうかは知らないが、チラシにこのタイトルがあったら私は来たくなる。あとこのコンビ飽きたとかいう意見も出そう。コンビ(?)に関して私は全然違うと思うし何も気にならない。飽きてもないし。
- ・繰り返しも多いし 4div.までなところがあるからパート分けが大変そう。声量声質がある程度よりそって初めてこの構造の意味があると思う。
- ・エコーというよりかはいっぱい散らばっているのが通り過ぎていく感じ(三角標とか)? だんだん大きくなっていくところとかはそうだと。細かい強弱で距離感をうまく具合に。もちろんエコーもあると思うけど。分かれているところはパート内または他の一部パート音が一緒なところが多く、受け継ぎみたい

なのも多い。からわかって慣れるまでに時間はかかりそうだがそこからは行けそうな気がしなくもない。

- ・男女で分かれるところが非常に多いためアルトとの連携が大事になりそう。
- ・意味内容の解釈は置いておいても日本語が楽しい。歌い分けは積極的に考えたい。
- ・銀河鉄道の夜読み、本の注釈でも関連する内容を色々知ったので「これかー」っていうのはちょっとわかったが、曲の構成としてわからないところがいっぱいある。『ゴーゴー』のところとか『ようくるみの木…』のところとか(これは岩手軽便鉄道?)とその後(Qの前まで)とか。銀河鉄道の夜本文だけが主でなく関連する詩がまとまって入っているのはわかるが、全然読み込めてはないのでたくさん考えていきたい。全体としてメリハリがあって良い。ただ、この物語を知ってこういうことを書いている(想像以上に深かった)ので、物語を知らない or 忘れたお客さんにはどう聞こえるのかわからない。実際物語中の言葉や別の詩からのまとまりが散りばめられており、物語が時系列に沿って語られているわけではない。が、「音画」ということ、世界観を出しつつも、伝えるところでは物語を伝えたい。大きな主題の雰囲気は伝わると思う。春と修羅をやった経験も役に立つ。詩と曲と関連については、『百べん灼いてもかまわない』のところがちょっとしっくりこない気がする。
- ・練習の見通しなんてわからないが、先にも言った通り語感から伝え方まで色々やることもありそうで比較的立ちやすいかなと。見た目より簡単そうとか言ったけれど 3/4div.を把握できるか不安。わからない。

2. フィリピン音楽の窓

〈全体〉

・フィリピンはよく知らないけれど面白いと思う。動画で座りながら高音出していて強いと思った。詩自体は教典文(?)みたいな感じだがどこか聴きなれていない音楽って感じがして楽しい。

・他ステとのバランスも悪くないと思う。テーマとしても目を引くかなと。オムニバスも、感じの違う2曲だからいい感じでは。

・練習の見通しもまあまあ立つ。難しいのものもあるかもしれないが。

〈Doxologia〉

・“*Salus*”の通り本当に聞いていたら救われそうな曲。良い。音が綺麗。難しいリズムではない、動きの一体感もあるので耳使いつつ把握しながら丁寧にやりたい。

・初めと中盤の太線のところ何言っているかわからない(指示の意味がわからない)。後半、クレッシェンドの他に強弱指示が少ないのでちょっとよくわからない。

・基礎力がものを言いそう。長い音符が多く休みもあまりないため持続力・推進力かなりいると思う。しかも最後に高いの来るし。高音は抜きたい(語彙力)。細かい下降/上昇音型も多い。あとフレージング。音に振り回されたくない。難しくなさそうで実はきついみたいな？

〈Gloria Patri〉

・かっこいいし楽しそうではある。フィリピン感ある(?)なんかやばい曲だ

なという第一印象。形になるまでかなりかかりそう。だからと言って指導できないわけでもなさそう。ノリは欲しいが、雑にならないようにはしたい。

・初めからソプラノ頑張らなきゃ行けない。この高さでこの音価で鳴らすのは難しい。(ですよね?)ほとんどずっと分かれているのも不安(六連期見る感じなのであてにはならないかもだが)。男声も頑張ってくださいという感じ。

・全体的に音も難しい。最初と最後は動きも速いし細かいし(上は)高いし…丁寧にやるにしても大丈夫かなあという感じ。26~とかやばい。発語も難しそう。発語あつての曲の面白さでもあると思う。くっきりした演奏にしたい。パートごとで違う動きするところとか特に混乱しそう。できたらすごくかっこいいけど。

3. 森の憧憬

〈全体〉

・バランスは、宇宙(?)・森・海でなんかいい感じ。このような形式の演奏をあまり聞いたことがないのでなんとも言えないが、面白いステージ・空間になることは間違い無いだろう。ステージ構成は最もしっくり来るか。

・森だけけど kondalilla は熱帯系?のイメージ、little tree はクリスマスのアレで対照性もある。

〈kondalilla〉

・“kondalilla”って何かわからなくても普通に想像できるくらいに体感的な曲。とても綺麗で面白い。柏葉でできたとしたら大きな可能性を感じる。まあとん

でもない曲だと思う。

- ・本番は女声か全体かは決まっていないが客席にも散らばり（お客様が入った状態は本番のみ）そして ad lib. ということで、どう思うか特に女声団員の意見を聞きたい。

- ・どうやって練習するんじゃい、ということで練習方法については説明があるだろう。目立つ上 2 声を各 7 人ほどの soli. 的扱いにする、パートでも個人練習が多くなると思われる。本当に ad lib. なので自由にできそう。このような曲は今までやったことがない（それはそうか）ので不安ではあるが、グダらないようにしたい。

〈little tree〉

- ・とても綺麗で良い。少しポップな感じもする。体感的であるし、誰でも親しみやすいのでは。

- ・簡単な英語なので是非歌詞も聞かせたい（英語の発音には自信がない）。いい歌詞ですね。

- ・ソプラノ単体で見ると音が取りにくいことはそんなにないかなという感じ。全体で見ると音がいい感じに重なるところがあるので丁寧に耳を使ってやっていきたい。ソプラノは跳躍（しかも高い）が多いので不安。交聲詩海とかとは全く違う声出せたらいいなと。練習の見通しは…あんまりイメージがつかない。詰め方に不安がある。考えるべきはいっぱいあると思うので、これから考えていければ。